

# 全国地理教育学会 第13回大会 プログラム

## 大会テーマ

### 巡検学習論の更なる発展を目指して

期 日 2019年 11月24日 (日)

会 場 神戸女子大学三宮キャンパス (教育センター)

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通2-23-1  
発表会場：特別講義室・123教室 シンポジウム：特別講義室  
評議員会：演習室 懇親会：神戸「萬寿殿」(三宮キャンパスより徒歩1分)

主 催 全国地理教育学会

日 程 11月24日 (日)

8:40~	受 付
9:30~12:10	一般研究発表
12:20~13:00	評 議 員 会
13:20~16:10	シンポジウム
16:30~17:00	総 会
17:30~19:00	懇 親 会

会 費 大会参加費 1,500円 (会員・非会員ともに)

懇親会費 5,000円 (会員・非会員ともに)

大会事務局連絡先 大会委員会：牛込裕樹 (大会委員長) TEL：090-1846-3359

mail:taikai@jageoedu.jp

大会実行委員長：佐藤浩樹 (神戸女子大学)

mail:h-satou@yg.kobe-u.ac.jp

全国地理教育学会事務局 〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

女子聖学院中学高等学校 柏倉康成

URL:<http://www.jageoedu.jp>

**●研究発表・第1会場****(特別講義室)****(9:30~12:09)**

発表時間 発表：15分 質疑応答：4分 計19分

◎ 9:30~10:49 座長 101・101 酒井喜八郎 (南九州大学)

103・104 宮本 静子 (宮城県名取市立増田中学校)

101 9:30-9:49

平面から立体への小学校社会科授業—第3学年みんなのまちわたしたちのまち—

河野 富男 (香川県宇多津町立宇多津小学校)

102 9:50-10:09

少子高齢社会における地域と学校の連携による健康とまちづくり—カリキュラム・マネジメントにおける「ひと・まち・つながる教育」—

岡田 良平 (大阪府泉南郡岬町立深日小学校)

103 10:10-10:29

小・中学校社会科における自県学習カリキュラムの開発—「群馬県学習」の事例—

佐藤 浩樹 (神戸女子大学文学部)・群馬社会科教育学会

104 10:30-10:49

文化遺産を活用した地理授業の開発—小中高の系統性をふまえて—

菊地 達夫 (北翔大学短期大学部)

**休憩 (10:50~11:10)**

◎ 11:10~12:09 座長 須原 洋次 (龍谷大学)

105 11:10-11:29

社会教育における地理教育—ドイツを事例に—

松浦 直裕 (石川県立生涯学習センター)

106 11:30-11:49

日本地理かるた競技大会の成果と展望

松岡 路秀 (専修大学・非)・清水 学 (立教女学院)・地理かるた実施委員会

107 11:50-12:09

戦時下の地理教育論に関する考察 (その2) —地理学、地理教育、日本の主体性—

山口 幸男 (群馬大学名誉教授)

**●研究発表・第2会場****(123教室)****(9:30~12:09)**

発表時間 発表：15分 質疑応答：4分 計19分

◎ 9 : 30 ~ 10 : 49 座長 201・202 中牧 崇 (東洋大学・非)

203・204 横山 満 (本学会副会長)

201 9 : 30-9 : 49

地域観察による輪中地帯の開発教材

高田準一郎 (岐阜聖徳学園大学教育学部)

202 9 : 50-10 : 09

新課程「地理総合」の実践のために必要なこととは

- ミステリー『黒い津波とリアス海岸』の開発から -

山内 洋美 (宮城県塩釜高等学校)

203 10 : 10-10 : 29

「学校行事で行う地図指導に関する実践報告」—高等学校新入生宿泊研修における地図作成実習—

斎藤 清嗣 (京都府立久御山高等学校)

204 10 : 30-10 : 49

映画『天気の子』を活用した高校地理授業実践—「100%晴れ女」は、セカイをヘイワにするのか?—

植田 啓生 (明星中学校・高等学校)

**休憩 (10 : 50 ~ 11 : 10)**

◎ 11 : 10 ~ 12 : 59 座長 永田 成文 (三重大学)

205 11 : 10-11 : 29

海外旅行の豆知識を教材とした高校地理Aの授業実践

今井 英文 (山陽学園大学・非)

206 11 : 30-11 : 49

ザンビアを事例とした高等学校地理Aにおける「地球的課題と私たち」の授業実践

西 克幸 (桜美林高等学校)

207 11 : 50-12 : 09

地球全体認識を促す教材を考える—地理総合「大観し理解する」に注目して—

西岡 尚也 (大阪商業大学)

**●評議員会 (演習室) (12:20~13:00)**

**●シンポジウム (特別講義室) (13:20~16:10)**

テーマ : 巡検学習論の更なる発展を目指して—新学習指導要領、巡検実践、評価論等—

全国地理教育学会では、これまで「巡検学習」の理論的・実践的研究に力を入れ、精力的に研究を行ってきた。それらの成果は、シンポジウムでの発表、『地理教育研究』への掲載等に現れ、そして、2012年には単行本『巡検学習・フィールドワーク学習の理論と実践—地理教育におけるワンポイント巡検のすすめ』(古今書院)として成

果をまとめた。

このように本学会は、巡検学習論に関する数々の先進的な研究業績を積み上げ、わが国地理教育界において巡検学習論をリードする存在となっている。

しかしながら、先の単行本以降、巡検学習論に新たな課題が提起されている。たとえば、新学習指導要領における巡検の位置付け、巡検学習の実践方法、巡検学習の普及方法、巡検学習の評価論、地図指導、大学・教員養成における実践などである。

地理教育において巡検学習がいかに重要かは改めて述べる必要はないであろう。その重要性をふまえた上で、上記の課題を検討・克服し、巡検学習論の更なる発展を目指したいと考える。

発表者：清水 大介（東京都立富士森高等学校） 各 20 分  
今井 英文（山陽学園大学・非）  
酒井喜八郎（南九州大学）

休憩 (15分)

コメンテーター：西岡 尚也（大阪商業大学） 15 分

討論 60 分

オーガナイザー：牛込 裕樹（大妻中野中学校・高等学校）、中牧 崇（東洋大学・非）  
松岡 路秀（専修大学・非）、横山 満（本学会巡検委員長）

●総 会 （特別講義室） (16:30~17:00)

●懇親会 （神戸「萬寿殿」） (17:30~19:00)

### ●会場案内図および交通案内

○大会会場

神戸女子大学 三宮キャンパス（教育センター）

○交通案内

- ・新神戸駅（新幹線/市営地下鉄）より市営地下鉄西神・山手線で三宮下車、三宮駅（阪急/JR、市営地下鉄）より徒歩 15 分

